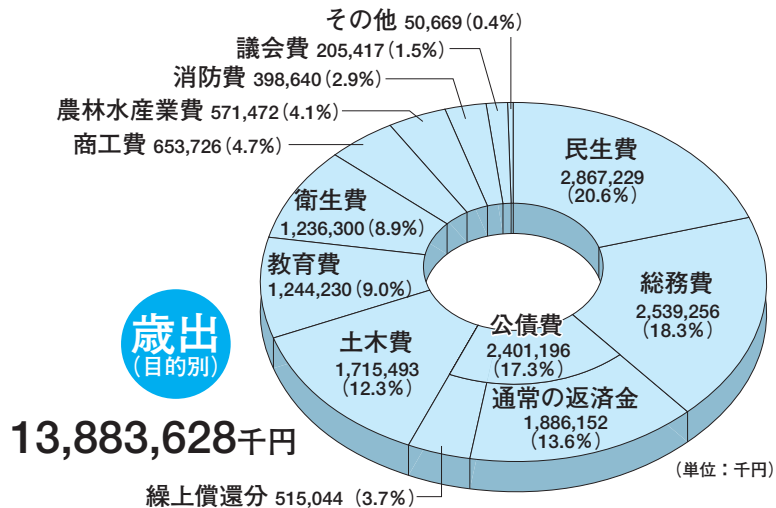
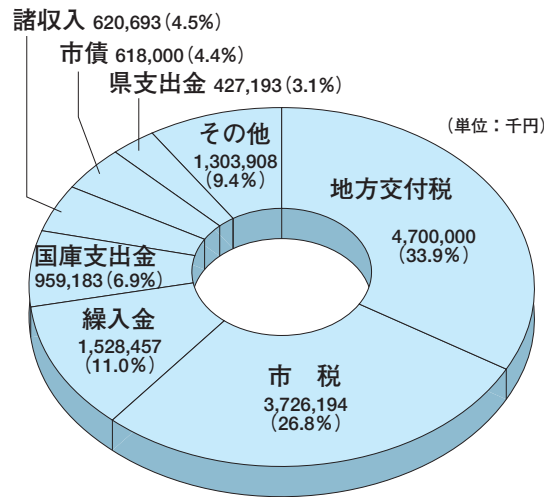


# 平成17年度 予算

# 139億円の使われ方

歳入 13,883,628千円



歳出 (目的別) 13,883,628千円

歳出 (性質別) 13,883,628千円

人件費	3,224,832	(23.2%)
公債費	2,401,196	(17.3%)
通常返済金	1,886,152	(13.6%)
繰上償還分	515,044	(3.7%)
物件費	2,019,809	(14.6%)
繰入金	1,902,950	(13.7%)
補助費等	1,321,115	(9.5%)
扶助費	1,153,605	(8.3%)
投資的経費	1,027,040	(7.4%)
その他	833,081	(6.0%)

- 精神障害者居宅生活支援事業費補助金など精神障害者保健福祉事業に435万円
- 介護予防拠点施設の管理運営に183万円
- いきいきプラザの管理運営に786万円
- ゴミ収集委託に6,840万円

## 労働費

- 勤労青少年ホームの管理運営に1,497万円
- 雇用・失業問題に対処する緊急雇用対策経費に863万円

## 農林水産業費

- 市民農園関係費、農業祭の負担金など農業振興費に859万円
- 馬牛沼ため池駐車場整備などせせらぎの里整備事業に1,010万円
- 農道、用水路、ため池整備など農村居住環境の保全と改善のための経費に4,498万円
- ふるさと農道緊急整備事業として峠沢線(越河)ほか4農道の改良に8,010万円
- 松くい虫防除、造林事業、林道改良事業など林業振興経費に7,656万円

## 商工費

- 商店街の活性化に対する助成、全日本こけしコンクール負担金、中小企業振興資金融資信用保証料補給、中小企業経営資金の円滑化を図るための貸付金など商工業振興費に4億4,535万円
- 観光協会、春・夏まつりおよび観光振興のための助成や、小原温泉つり橋整備工事など観光費に1億3,256万円
- 温麺の館、弥治郎こけし村、商家資料館、中心市街地活性化交流広場の管理運営に1,165万円
- 白石スキー場の維持管理に1,844万円

## 土木費

- 市道の改良、舗装、側溝整備など道路橋梁の整備や水門電動スライドゲートなど河川管理に2億7,326

- 白石市鷹巣地区住居表示業務委託料に700万円
- 公園の維持管理に5,812万円
- 沖の沢郡山線街路の整備に3億9,267万円
- 木造住宅耐震改修工事助成補助金など住宅の耐震対策や市営住宅の維持管理に3,769万円

## 消防費

- 消防団の運営や小型動力ポンプの購入、市内全戸配布予定の白石市防災マップの印刷製本費など消防費に3億9,864万円

## 教育費

- 小・中学校生徒指導対策、特色ある学校づくりおよび総合的学習事業、スクールバス運行業務委託料やスクールバス購入など教育振興費に5,018万円
- 外国人による英語指導事業に1,716万円
- 公民館、図書館、青少年相談センター、白石市スポーツセンターの管理運営に2億501万円
- 学校給食センターの管理運営に3億2,184万円

## 特別会計

- 国民健康保険特別会計 35億2,566万3千円 (対前年比1億6,077万7千円増)
- 下水道事業特別会計 16億3,259万円 (対前年比2,761万円増)
- 地方卸売市場事業特別会計 377万2千円 (対前年比9万8千円増)
- 老人保健特別会計 44億5,133万6千円 (対前年比2,948万5千円増)
- 農業集落排水事業特別会計 8億453万9千円 (対前年比1億1,059万円増)
- 介護保険特別会計 21億7,908万5千円 (対前年比1億2,866万4千円増)
- 水道事業会計 収益的収入 10億2,573万1千円  
収益的支出 10億1,996万円  
資本的収入 1,367万1千円  
資本的支出 2億2,731万7千円

市の一般会計当初予算の総額は約139億円で、前年度当初予算と比較すると7.4%の減ですが、借換債を除く実質規模では3.8%の減となります。

歳入(収入)のうち、一番大きい地方交付税(47億円、全体の33.9%)は、全国ベースで平成16年度並みに確保されたとはいえ、当市の交付分が不透明な上、平成16年度交付額が大幅に減額となっています。また、三位一体の改革により補助負担金までも大きく削減されているため、多くの地方都市の財政状況は厳しい局面を迎えています。

そうした状況の中、事務事業の見直しによる経常的な経費などの縮減に努力しながら、「こころ豊かなふるさと白石」の実現に向け、「共汗」「共学」「共生」をキーワードに、「第三次行政改革の推進」「賑わいと活力のあるまちづくり」「安全・安心な防災のまちづくり」「人にやさしいまちづくり」を柱としたメリハリのある予算を計上しています。

歳出予算の主な事業は次のとおりです。

### 平成17年度の主な新規事業

- 「賑わいと活力のあるまちづくり」
  - 地域コミュニティ育成支援事業「やる気応援事業」補助金 200万円  
市民の柔軟な発想による、独創性のある地域づくり事業に助成します(詳しくは3ページをご覧ください)。
  - 白石市きらめき推進事業奨励補助金 200万円  
地区民を対象とした文化・スポーツ・生涯学習などの事業に助成します(詳しくは4ページをご覧ください)。
- 「安全・安心な防災のまちづくり」
  - 水害・地震のハザードマップを全世帯へ配布 105万円
  - 災害時対応用備品(毛布や飲料水など)購入費 200万円
- 「人にやさしいまちづくり」
  - 市民バス運行管理事業 3,159万円  
5台・7コースで効率的な市民バスを運行します。
  - 延長保育促進事業 1,144万円  
南・西・北の各保育園で保育時間を1時間延長し、午後7時まで保育を実施します。
  - 誕生祝い金 500万円  
第1子に1万円、第2子に2万円、第3子以降に3万円を贈呈します(詳しくは5ページをご覧ください)。

## 総務費

- 市民バス運行管理事業および市民タクシーの運行経費に3,316万円
- IT社会に対応する情報化対策、アテネ(情報センター)の管理運営に8,468万円
- 国際交流員の設置や国際姉妹都市ハーストビル市との交流など国際交流事業に1,582万円
- スパッシュランド、碧水園、白石城などの管理運営に1億1,309万円
- ホワイトキューブのイベントや管理運営に1億7,816万円

## 民生費

- 重度心身障害者移動サービス利用助成事業や障害者スポーツの利用助成、デイサービス、ホームヘルプサービス事業など身体障害者福祉費に1億6,638万円
- 知的障害者ホームヘルプサービスや地域生活、施設訓練などの支援、福祉作業所やまぶき園の運営委託など知的障害者福祉費に2億6,717万円
- シルバー人材センター運営費補助金、生きがいデイサービス、自立

- 者支援のためのホームヘルプサービス、ねたきり老人等紙おむつ給付、高齢者無料バス助成、配食サービス、シルバーハウジング生活援助員派遣、外出支援サービス事業など長寿福祉費に1億2,584万円
- 老人福祉センター、総合福祉センターおよび福祉プラザやまぶきの管理運営に5,372万円
- 基幹型在宅介護支援センターの運営に1,223万円
- ふれあいプラザと働く婦人の家の管理運営費、男女共同参画推進事業、ファミリーサポートセンター